

原産地呼称管理制度に参加しているみかん農家さんにお話を聞きました。

## つながり、広がる、有田みかんブランド



かせだ いたる  
総田 至さん

### 世界で通用するパスポート

有田みかんという先人が積み重ねてきたブランドは、日本中で名前が通っていますが、海外ではどうかというところでもないですね。知名度を広げていこうと思っても、個人ではなかなか難しい。

原産地呼称管理制度は世界中通用するパスポートをもつようなものだと思います。

### 認定みかん

食のプロが認めたみかんとして、認定みかんは付加価値がつきます。その分少し変なみかんが混ざっただけで信用が落ち

てしまうので、有田みかん全体の信用に関わってくるというプレッシャーもありますが、みかんを食べた方から年賀状が届いたり、実際園地の見学に来られたりと、消費者の方々と個人的なつながりが生まれています。

### よりおいしいみかんをつくるには

光センサーでの審査の際、落ちることもあります。どう工夫すれば合格するか考える良い機会になります。落ちるのを恐れず、よりおいしいみかんをつくるきっかけと思って積極的に参加してほしいですね。

## 有田みかん農業はこれからおもしろくなる

### Uターンでみかん農家の後継者に

**雄亮さん** 大学進学を機に県外へ出て、卒業後は民間企業や観光農園に勤めました。去年の4月に戻ってきて、今は父についてみかんづくりの勉強中です。

**学司さん** 自分も他の職業を経験しているので、色々学んで帰ってきてほしいと思っていました。現在は箱詰め作業等、前向きに取り組んでおり、今後自分のやり方が確立してきたらどんどん楽しくなってくると思います。

**雄亮さん** 自分がつくったみかんが届く先が見えたら、やりがいにつながると思う

ので、消費者とのつながりを大事にしたいと思っています。父は自分で考えて変化を起こし、それが市場で評価されています。そんな姿を見て、すごいなと思っています。

### 農業のこれから

**学司さん** 原産地呼称管理制度はこれからは楽しみな制度ですね。この制度をはじめとした取り組みを機会にチャレンジしていけば、農業はこれからおもしろくなると思います。息子には人とのつきあいを大切に、人間の幅を広げ、農業の幅も出してほしいと思っています。



親子でみかん農家を営む  
父 御前 学司さん (右)  
子 御前 雄亮さん (左)

## 新たなチャレンジを！



6月15日(金)、文化福祉センターにおいて、約200名の方が集まるなか、「有田のみかん集会」を開催しました。

みかん農家の方々と有田市、そして㈱リクルートで取り組んでいる新たなチャレンジについて説明しました。

## 認定みかんスケジュール

◇7月1日(日)～8月31日(金)

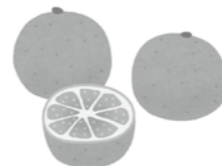
認定みかん申請受け

◇10月～12月

官能審査会を開催(昨年度と同時期に4～5回開催予定)

**申込** 申請書は有田みかん課に備えている他、市ホームページに掲載しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご提出ください。

**申・問** 有田みかん課(内線261)



# Arida Quality

## 原産地呼称管理制度

有田 QUALITY®

400年以上つづく、有田市が誇るみかんのファンをもっと増やしたい

そして、この誇りを次世代へつないでいけるように・・・

高品質な有田みかんブランドを公的機関が認定管理することで、消費者に安心・信頼を与える制度として、平成22年度に原産地呼称管理制度を創設しました。

食のプロによる厳正な審査により、基準をクリアしたものに与えられるのが「有田市認定みかん」の称号です。

また、後継者不足の問題や農業所得の伸び悩みなど、有田みかんを取り巻く環境を変えるため、㈱リクルートホールディングスと地方創生の推進を目的とした包括連携協定を締結し、「Cheers Agri Project IN ARIDA」(通称:CAP)を発足させました。

原産地呼称管理制度の認知度向上やふるさと納税の拡充、新規販路の拡大に取り組んでいます。